

県民交流広場事業の概要

県民交流広場は、身近なコミュニティ施設などを活用して整備される「活動の場」と、そこで営まれる住民の皆さんによる「手づくりの活動」を総称したものである。

第7期の法人県民税超過課税（課税期間：平成16年10月～平成21年9月）を活用し、県民交流広場のための整備費助成や活動費助成などを行い、地域を舞台とした子育てや防犯、環境、生涯学習、文化、まちづくりなど多彩な分野の活動を通じた元気と安心のコミュニティづくりを応援している。

項目	要件	備考
対象地域	原則として小学校区を区域とするコミュニティ。小学校区を統合又は分割した区域も可	平成16年5月時点の校区を基本
申請主体	自治会、婦人会、老人クラブ、PTA、子ども会、ボランティアグループ、NPO等で構成された住民組織 ※まちづくり協議会等の既存組織も可	地域代表性(住民の総意の反映)と公正・透明な運営が必要
対象となる取り組み	地域の課題解決に向けた取り組みなど、地域づくり活動の展開(新たな活動の開始、既存活動の充実)と、住民だれもが利用できるコミュニティの活動拠点の整備(改修、新築、備品購入等)	拠点となる施設は、集会所、公民館など地域の拠点にふさわしいもので、活動テーマに沿った整備が重要
助成額	①活動の展開や拠点の整備に必要と認められる額を以下の範囲で助成 1 小学校区：整備費 1,000 万円以内 活動費 300 万円以内 ②整備内容が備品購入のみ：整備費限度額 1/2	校区統合：1 校区の額×統合数(3 限度) 校区分割：1 校区の額を分割した額
助成の特例	①整備費と活動費の間で 200 万円を限度に助成金の配分を変更できる特例あり ②施設整備は 1 箇所が原則。ただし、複数施設に助成金を活用できる特例あり	①、②ともに要件があり、県民局の認定が必要
助成金の使途	①活動費：印刷、消耗品等の事業経費や、ホームページ作成、ボランティア謝金、光熱水費等の運営経費 ②整備費：コミュニティ施設の工事費、施設賃借、備品購入・借上等の経費	助成金は概ね5年間に分割して助成 建物工事等主要な整備は1～2年目

助成金の使途について、

- 活動の展開に直接関係しない屋根や外壁、廊下などの改修や高額なエレベーターの設置
 - グラウンド、駐車場などの屋外施設の整備
 - 娯楽性や奢侈的要素の強い、カラオケ、ピアノの購入
- などは、必要性の精査が求められる。

県民交流広場事業実施状況一覧

地域名	松が丘地区	朝霧地区	人丸地区	中崎地区	明石地区	大観地区	王子地区
小学校区名	松が丘小学校区	朝霧小学校区	人丸小学校区	中崎小学校区	明石小学校区	大観小学校区	王子小学校区
地域推進委員会名称	松が丘地区コミュニティ推進協議会(既存)	朝霧校区コミュニティ推進協議会(既存)	人丸まちづくり推進会(新設)	—	明石校区自治協議会(既存)	まちづくり大観地区協議会(既存)	王子地域づくり推進協議会(新設)
採択年度	平成18年度	平成21年度	平成22年度	—	平成19年度	平成22年度	平成18年度
活用施設の名称	松が丘小学校区コミュニティ・センター(改修)	旧朝霧小学校コミュニティ・センター(改修)	人丸小学校区コミュニティ・センター(改修)	—	明石小学校区コミュニティ・センター(改修)	当津会館(改修)	王子小学校区コミュニティ・センター(新築・改修)
施設の場所(学校内/外)	学校内	学校内	学校内	—	学校内	学校外	学校内
活動・整備の目標ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ◆「松が丘を愛し、人を育むまちづくり」 ◆まちの安全・安心のための見守り活動、防災訓練等による防犯、防災活動の充実 ◆住民のコミュニケーションを結ぶあいさつ運動の日常的実施、グランドゴルフ大会の開催等異世代住民の交流の拡大 ◆朝霧公園への桜の植樹、クリーンアップ作戦等の実施による地域を愛する心の育成と、景観環境の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ◆伝統・ふれあい・安心のふるさとづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ◆安心、安全、安定の協働のまちづくりの推進 	—	<ul style="list-style-type: none"> ◆あんしん・あんぜん・あかるい・あしたの・あかし「5つの”あ”」を目標に地域の住民が必要な情報の交換や地域交流ができ、気軽に立ち寄れる場所を作るため、施設の改修工事、及び整備を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域交流行事を中心に多様な活動を展開・拡充していくにあたり、多数の住民が来場することから、交流施設、地域づくり活動拠点施設として活用され、子どもから高齢者まで地域住民のつながりを深めることのできるまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ◆望ましい拠点づくりと活動への条件整備 ◆校区内の各団体、サークルの組織や運営・活動等に関する相互理解と情報の共有化、連携の強化 ◆防災や防犯並びに環境改善への意欲喚起と実践化 ◆小コミセンとの連携と協働に基づくまちづくりの推進
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆安全パトロールなど地域の安全を見守る事業 ◆あいさつ運動等異世代間交流、人材育成事業 ◆地域清掃、ウォークラリー等地域を愛する心を育む事業 ◆まちのバリアフリーについての研究、対策づくり、啓発など ◆交流学習園での住民交流活動 	<ul style="list-style-type: none"> ◆伝統行事の継承と振興(左義長、盆踊り) ◆スクールガード支援 ◆ふれあい活動(子どもや高齢者の居場所づくり) ◆みどりのカーテン(プレハブ緑化) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆多目的ホール充実による各種講座・研究会、講演会、演芸会等の開催 ◆人丸シネマ館、子育て広場、本の交流棚等の開設 ◆スクールガード、等の整備・連携の推進 	—	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の交流事業の実施(「夏まつり」「敬老会」等) ◆国際交流事業の実施(「帰国子女を対象とした日本語教室」) ◆スクール・ガードをはじめとした防犯活動の充実 ◆健康の維持・増進を図るための事業実施 ◆地域情報誌の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆多世代が集う交流イベントの開催(映画上映会、クリスマス会、等) ◆地域住民を対象とした事業の拡大(魚の捌き方教室、等) ◆児童の安全安心活動の充実(スクール・ガードの拠点) ◆高齢者に対する支援の実施(健康づくり、パソコン講習会、等) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆防犯、防災の啓発活動と情報発信、地域の環境改善 ◆音響・映像設備の充実と学習・研修機会の拡大 ◆団体やサークル活動の充実、子育て支援などボランティア活動の育成
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆会議室の確保と空調等の設置 ◆案内看板等誘導設備の整備 ◆「交流学習園」の整備 ◆プロジェクター等備品の購入 	<ul style="list-style-type: none"> ◆1階間仕切設置 ◆非常階段設置 ◆映写設備・ビクチャーレール設置 ◆収納保管庫等備品の購入 	<ul style="list-style-type: none"> ◆間仕切り撤去による多目的ホールの拡大・改修 ◆スクリーン、本棚設置 ◆机、いす等備品の購入 	—	<ul style="list-style-type: none"> ◆コミセン事務所拡張工事 ◆倉庫設置 ◆門、扉の防犯工事 ◆グランド照明設置 ◆拡大コピー等備品の購入 	<ul style="list-style-type: none"> ◆交流施設としての整備(音響機器、OA機器の導入、利用者用トイレの洋式化、等) ◆机、椅子など不足備品等の充足 	<ul style="list-style-type: none"> ◆交流拠点、事務室としてプレハブ新設 ◆旧事務室の内装改修 ◆スロープ工事 ◆カーテン設置 ◆屋外用掲示板等の備品の購入
配分(整備/活動)	1,000万円/300万円	1,045万円/255万円	1,000万円/300万円	—	820万円/420万円	1,092万円/208万円	1,050万円/250万円
目指した効果	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域住民が自分のまちのよさを知る機会の増加 ◆高齢者や障害者にやさしいまちづくりの推進 ◆まちの安全安心の増進 	<ul style="list-style-type: none"> ◆小学校区単位拠点の整備による、校区住民の繋がり推進 ◆子どもから高齢者までの世代間のきずなの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆世代間、住民間、各種地域組織間交流の促進に伴う、安心・安全・安定の協働のまちづくり活動への寄与 ◆校区内情報の収集・発信による、より多くの住民の参画期待。これに伴う地域の更なる活性化 	—	<ul style="list-style-type: none"> ◆コミセンを情報の発信源とし、多くの住民と情報を共有化 ◆地域交流事業を進め、地域を活性化 ◆国際交流事業を進め、相互理解、協力の基盤を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ◆立地的に利便性の高い既存施設の活用、機能充実による、更なる利用者の拡大 ◆地域課題を解決する場・機会の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ◆集会所設置による活動の活性化 ◆研修等への住民参加の増加 ◆コミセンと広場の連携による課題や苦情、要望などの受け皿づくり ◆防犯・防災や情報の拠点化 ◆ボランティア精神の地域への浸透

地域名	林地区	藤江地区	花園地区	貴崎地区	鳥羽地区	和坂地区	沢池地区
小学校区名	林小学校区	藤江小学校区	花園小学校区	貴崎小学校区	鳥羽小学校区	和坂小学校区	沢池小学校区
地域推進委員会名称	林校区コミュニティ推進協議会(既存)	藤江校区コミュニティ推進協議会(既存)	花園校区連合協議会(既存)	貴崎校区まちづくり協議会(既存)	鳥羽まちづくり協議会(新設)	和坂校区連合協議会(既存)	沢池校区連合協議会(既存)
採択年度	平成20年度	平成18年度	平成20年度	平成19年度	平成19年度	平成21年度	平成20年度
活用施設の名称	林会館・林コミュニティ・センター(改修)	藤江小学校区コミュニティ・センター(増築・改修)	JR西明石駅南明石市市有地内「はなぞの広場」(新築)	貴崎小学校区コミュニティ・センター及び市立貴崎水防倉庫(改修)	鳥羽小学校区コミュニティ・センター(改修)	和坂小学校区コミュニティ・センター及び西明石町公民館(改修)	沢池小学校区コミュニティ・センター(改修)
施設の場所(学校内/外)	学校外(林会館)	学校外(旧藤江スポーツセンター)	学校外(市有地に地域管理施設設置)	学校内/学校外(水防倉庫)	学校内	学校内/学校外(西明石町公民館)	学校内
活動・整備の目標ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ◆心と身体の垣根をとろう(バリアフリー) ◆地元の特徴を発信していく場とするために、住民自らの活動や運営についてルール作りを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ◆世代間・新旧住民が交流・連携を図り、健康で安心してずっと暮らしたいと思えるまちをつかっていく 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の子どもは地域で育てる。子どものための故郷づくり ◆世代間交流を通して安全安心のまちづくり ◆独居高齢者の見守り活動 	<ul style="list-style-type: none"> ◆多様な交流活動を可能とする交流拠点整備 ◆子どもたちを地域で育てる「地域教育力の再生」 ◆「ふるさと貴崎」に愛着が持てる町づくり ◆高齢者等の地域での見守り活動 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「ふれあい・健やかなふる里づくり」 ◆安全なまちづくり ◆健康で生きがいのあるまちづくり ◆健全な青少年の育成 ◆快適な環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ◆住みよい活気のある、和坂校区のまちづくり ◆地域住民の協調・連帯感の育成・結束を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の交流を深めることにより地域力を高める ◆地域SNSを利用した地域コミュニティづくり
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆囲碁・将棋大会、作品展示会、展覧会、フリーマーケット等新しい活動を展開 ◆林校区の特徴を生かした活動の展開(とれとれ祭り、地元物産展等) ◆自治会等に入っていない人々にも参加を呼びかける(PRの拡充) ◆既存活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◆まちの再発見ウォーキング・地域マップづくり ◆健康づくり講座・事業の実施 ◆世代間・新旧住民間の交流事業(「校区夏祭り」「敬老会」等) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域ふれあいサロン(週1回) ◆まちかど健康教室を実施(月1回) ◆防災防犯活動「パトロール、防災防犯教室」を実施(月1回) ◆子育て広場(月1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもを地域で育てる“居場所”の運営 ◆「食」を通じた地域交流をめざし、各種行事を開催 ◆多世代が交流でき、地域が一体となれるイベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ◆安心・安全のための防犯・防災活動事業の実施 ◆鳥羽収穫感謝祭等のふれあい交流事業の実施 ◆健康・福祉に関する事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆3大イベントの開催(納涼夏まつり、敬老会、左義長) ◆パソコン教室の開催 ◆防犯・防災・地域福祉活動等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆住民間の交流(各種交流事業の実施) ◆地域防災(防災マップの作成) ◆地域の歴史の掘り起こし(伝承教材の作成) ◆地域SNS導入に向けた下地づくり(パソコン教室)
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆多目的室に改修(2F和室→洋室) ◆1階和室→洋室へ ◆実習室に収納棚の設置 ◆トイレの洋式化と手すり(2F・3F) ◆各部屋の段差を解消 ◆自転車置き場を新設 ◆展示パネル等備品の購入 	<ul style="list-style-type: none"> ◆玄関にスロープ設置 ◆小規模交流スペースの整備 ◆餅つき用具等備品の購入 	<ul style="list-style-type: none"> ◆多目的スペースの設置 ◆事務所の設置 ◆会議室の設置 ◆トイレ・湯沸かし室の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ＜よっといで＞ ◆トイレの改修 ◆施設のバリアフリー化 ◆調理台等の設置 ＜貴崎小コミセン＞ ◆机、いす等備品の購入 	<ul style="list-style-type: none"> ◆倉庫を事務室に改修 ◆元事務室を多人数の会議が可能となる会議室に改修 ◆ふるさとまつり物品保管用プレハブ物置新築 ◆コミセン通路整備 ◆外灯設置 ◆暗幕カーテン、ブラインド取替え 	<ul style="list-style-type: none"> ＜和坂小コミセン＞ ◆ミーティングスペース・屋外照明設備 ◆玄関バリアフリー、トイレ改修 ＜西明石町公民館＞ ◆バリアフリー、トイレ改修 ◆パソコン等備品の購入 	<ul style="list-style-type: none"> ◆トイレの増設 ◆雨囲いの設置 ◆入口の段差解消(スロープ) ◆パソコン等備品の購入
配分(整備/活動)	1,155万円/145万円	800万円/500万円	1,000万円/300万円	1,000万円/300万円	916万円/384万円	1,019万円/281万円	874万円/426万円
目指した効果	<ul style="list-style-type: none"> ◆バリアフリーにより、高齢者等の利用が増えるとともに、より安全に施設を利用して活動できる。 ◆多目的室の設置により、新たな交流活動が展開される。(囲碁・将棋大会、作品展示会、展覧会、フリーマーケットなどを通して世代間の交流が期待できる。) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆健康づくり講座等の開催により地域の元気アップ ◆小規模交流スペース等の整備により、住民間・世代間・各種団体間の交流が活発化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆交流拠点を明確に位置づけることで、住民同士の交流が活発になり地域の活性化が図れる。 ◆広報誌で活動状況を広く発信することで利用者が増えまちの活性化につながる。 ◆防災、防犯講座を開催することで地域住民の防災防犯意識の向上が図れる。 ◆まちかど健康教室を開催することで住民の健康意識が高まり病気の予防につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「食」をテーマにした活動を行うことにより多世代間の活発な交流へ発展 	<ul style="list-style-type: none"> ◆世代間交流の活性化 ◆新たな地域活動の創出 ◆地域活動範囲の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ◆以前よりネットワークを組んでいた各自治会、町内会集会所、公民会、厚生館での活動に、小コミセン、西明石町公民館が加わることで、連携を深め、活性化を図ることができる。 ◆三大イベントを中心に、地域の活動がさらに活発になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆まちづくり活動の拠点が整備され、多くの人が利用しやすいものになり、まちづくり活動に積極的に参加することによって、地域の交流を一層進めることができる。これらの活動を通じて地域の連携が深まり、災害時においても、地域力を発揮することができるようになる。 ◆地域SNSに向けて、住民のパソコンに対する技能の向上を図ることにより、情報格差の解消、利用の促進につなげることができる。

地域名	谷八木地区	大久保南地区	大久保地区	山手地区	高丘東地区	高丘西地区	江井島地区
小学校区名	谷八木小学校区	大久保南小学校区	大久保小学校区	山手小学校区	高丘東小学校区	高丘西小学校区	江井島小学校区
地域推進委員会名称	谷八木校区連合協議会(既存)	大久保南小学校区連合自治協議会(新設)	大久保小学校区連合自治協議会(既存)	山手校区連合協議会(既存)	高丘各種団体協議会(既存)	高丘西コミュニティ推進協議会(既存)	江井島コミュニティ推進協議会(新設)
採択年度	平成19年度	平成18年度	平成21年度	平成21年度	平成24年度 申請予定	平成20年度	平成20年度
活用施設の名称	谷八木小学校区コミュニティ・センター(改修)	大久保南小学校区コミュニティ・センター(改修)	大久保小学校区コミュニティ・センター(改修)	山手小学校区コミュニティ・センター(改修)	高丘コミュニティ・センター及び中央集会所(改修)	高丘西小学校区内空き教室及び山手台会館(改修)	江井島小学校区コミュニティ・センター(改修)
施設の場所(学校内/外)	学校内	学校内	学校内	学校内	学校外(中央集会所)	学校内/学校外(山手台会館)	学校内
活動・整備の目標ポイント	◆ふれあいとぬくもりのある安全・安心なまちづくり	◆地域住民参加のイベントの開催 ◆高齢者、団塊の世代等の地域活動、行事等への参加 ◆子育て支援を含む異世代交流等の推進(お年寄りの知恵)	◆誰もがいきいきと安心して暮らせる元気な地域づくり～誰にも優しい地域コミュニティづくり～	◆世代間・住民間の交流を通じて、明るく、住みよい町づくりをめざす	◆ポイ捨て防止、クリーンキャンペーンなどの美化活動 ◆高丘まつりの開催 ◆花壇づくり	◆既存組織を超えた地域家族としての交流を通じた、住みよいまちづくり	◆世代間・住民間の交流を活発にし、あいさつがとびかう住みよいまち「江井島」をめざす
活動内容	◆ふれあいの住民交流事業 ◆ぬくもりのある安全安心育成事業 ◆まちづくりとしての文化・自然環境保全推進事業	◆新旧住民の交流行事の実施 ◆会議室、体育館等を利用した講演会、講習会等の実施 ◆親子映画会実施など子育て支援事業の実施	◆世代を越えた地域住民の交流の輪を広げる ◆顔の見えるコミュニティからの地域づくり ◆生活環境改善への取り組み	◆世代間・新旧住民間の交流の促進と拡大(やまてまつりの開催) ◆ふれあい喫茶の開設 ◆地域防犯、防災意識の向上(あいさつ運動、地域パトロールの推進)	◆ポイ捨て防止、クリーンキャンペーンなどの美化活動 ◆高丘まつりの開催 ◆花壇づくり	◆山手台会館において「居場所づくり」(サロン)を充実し、月1回の異世代間交流サロンの実施など。 ◆七夕祭り、ふるさと祭り、餅つき大会等季節毎に地域家族が集う行事の実施 ◆児童の安全安心を含む地域の防犯・防災のための事業を行う。(校区安全マップの見直し等) ◆環境意識の向上を目指す事業の実施(山手台会館)	◆世代間や新旧住民の交流の拡大を図る(夏まつり、スポーツフェスティバル) ◆ふれあい喫茶(週1～2回)、子ども文庫の開設、高齢者が昔の遊びを教え伝える講座の開催し、世代間の交流や子育て支援を図る。 ◆環境月間を設け、各種団体と連携をとり、地域全体での一斉清掃を実施し、環境保全を行う
整備内容	◆手すり等バリアフリー工事 ◆トイレ改修 ◆街灯設置 ◆談話室の電源工事 ◆倉庫設置 ◆広場整地 ◆まつり用品等備品の購入	◆音響設備の設置 ◆トイレの改修 ◆カラーコピー等備品の購入	◆ロビーの一角を多目的室に改修 ◆トイレ・床等をユニバーサル指向に改修 ◆湯沸かし器の設置 ◆空調設備 ◆パソコン等備品の購入	◆和室を洋室に改修 ◆コミセン周辺のバリアフリー化(スロープの設置等) ◆ユニバーサルトイレの設置	◆地域内の関係団体全体での最終合意形成を図っている状況 ◆中央集会所の改修可否など、活動拠点の確定を平成23年度内に実施 ◆平成24年度内に工事着工予定	<高丘西小学校> ◆空き教室の改修(エアコン設置、照明追加、壁紙等改修) ◆入口の段差解消、トイレのバリアフリー改修 <山手台会館> ◆2F研修室洋室化 ◆和式トイレの洋式化 ◆厨房にカウンター、間仕切りの設置 ◆会議室拡張に伴う倉庫の改修及び機能アップ ◆風力発電機の導入	◆フリースペースの設置 ◆トイレの改修 ◆ウッドデッキ設置 ◆ふれあい喫茶の開設に伴うシステムキッチンの整備とカウンターの設置
配分(整備/活動)	960万円/300万円	900万円/300万円	1,000万円/300万円	1,100万円/200万円	未定	1,170万円/130万円	1,000万円/300万円
目指した効果	◆人間関係がより豊かでまとまった地域へと発展	◆地域住民のコミセン利用が増え、地域活動の中核として活性化 ◆子育てを中心とした異世代交流 ◆団塊の世代のマンパワー活用で高齢者の生きがいづくり	◆コミセン利用増加に伴う、思いやりの心育む場の提供 ◆地域の人たちと子どもとの交流促進 ◆新・旧住民の多様なふれあい、交流の促進 ◆住民のまとまり発生により、新たな地域課題へ対処する地域力の醸成	◆バリアフリー化により、高齢者や障害を持つ方など誰でも気軽に交流できる場の提供 ◆継続交流による相互理解の進展、支え合い意識の醸成 ◆日々の生活における助け合い意識の活性化	◆連合自治会を中心に、事業プラン等を検討・調整中	◆高丘西小新設に伴い、高丘東小校区より高丘西小校区に変更となった自治会のうち、一部の自治会が東小の校区連合自治会組織である高丘連合自治会に残った。これらの自治会にも開放された交流広場ができることで校区をこえた交流の雰囲気ができ、コミュニティ創出の起爆剤となる。 ◆山手台地区において、交流の機会、雰囲気広がる。 ◆ふれあい居場所づくりを促進できる。	◆世代間・住民間や各種団体間の交流が活発になることで、人々のネットワークが広がり、まちづくりへの意欲が高まる。 ◆地域の情報収集と発信が容易になるため、人々の地域活動に参加する機会が増え、地域の活性化につながる。

地域名	魚住地区	錦が丘地区	清水地区	錦浦地区	二見地区	二見北地区	二見西地区
小学校区名	魚住小学校区	錦が丘小学校区	清水小学校区	錦浦小学校区	二見小学校区	二見北小学校区	二見西小学校区
地域推進委員会名称	住みよい住みたい魚住まちづくり協議会(新設)	明るい町づくり in 錦が丘(既存)	清水校区コミュニティ推進協議会(既存)	錦浦校区コミュニティ推進協議会(既存)	二見小コミュニティ推進協議会(新設)	二見北コミュニティ推進協議会(新設)	二見西コミュニティ推進協議会(新設)
採択年度	平成18年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成22年度	平成19年度	平成21年度
活用施設の名称	魚住小学校区コミュニティ・センター「わいわい広場」(増築)	錦が丘中央公園内「ふれあい広場 錦が丘」(新築)	清水小学校区コミュニティ・センター(増築・改修)	錦浦小学校区コミュニティ・センター(改修)	二見小学校区コミュニティ・センター(改修)	二見北小学校区コミュニティ・センター(改修)	明石市西部文化会館(改修)
施設の場所(学校内/外)	学校内	学校外(錦が丘中央公園)	学校外	学校内	学校外	学校内	学校外(西部文化会館)
活動・整備の目標ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ◆明るく住みよく住みたい安全安心な地域づくり・スクールガード等による地域パトロールの週2回の実施など、防犯対策の充実 ◆各種団体(社会福祉協議会、ボランティア連絡会など)との定期的交流会(連絡会)を実施 ◆「ふれあい喫茶」の月2回実施など住民間の交流の拡大(スクールガード事業と連携) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の活力を取り戻し、世代間交流が図れる高齢者の居場所づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ◆明るく住みよい安心安全のまちづくりを目指し多彩な活動を行うとともに、だれもが気軽に立ち寄れる居場所を作るため、施設の改修工事及び整備を行い、参画と協働のまちづくり推進に向け取り組んでいく 	<ul style="list-style-type: none"> ◆明るく住みよい住みたい安全で安心なまちづくりを目指して多彩な活動を行うとともに、高齢者や障がいを持った方も立ち寄れる居場所として施設整備を行い、参画と協働のまちづくりの推進に向け取り組んでいく 	<ul style="list-style-type: none"> ◆諸団体及び世代間・住民間の交流を通じ、人に優しく健康で明るく住みよい安全・安心なまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ◆世代間・住民間の交流を通じた安全・安心で美しいコミュニティづくり ◆全戸総参加の「二見北地域一斉清掃」の実施など美しい住環境づくり ◆あらゆる階層が参加できる「地域ふれあい広場」、「ふれあいシアター」の開催など、新旧住民や異世代間の交流拡大 ◆子育ての情報交換の推進、孤立化の予防等子育ての支援 	<ul style="list-style-type: none"> ◆世代間の交流を図り、ぬくもりの感じられるコミュニティづくり ◆交流事業を通じた元気と安心のコミュニティづくり ◆高齢者・障がいのある方と地域の係りの持てる活動の推進
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆パトロール活動などの地域防犯活動の実施 ◆地域コミュニティ再生のため、井戸端会議事業の実施 ◆健康・福祉活動など住みよい住みたいまちづくり事業の実施(ふれあい喫茶の開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆登下校見守り活動の休憩を兼ねた情報交換の場の確保 ◆週1回の住民による防犯パトロール ◆世代間交流のための月1回のミニケアサロンの実施 ◆錦が丘まつり等の地域行事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆防犯活動の推進 ◆スクールガード等見守り活動 ◆しみずフェスタ等の地域交流 ◆犬の糞害防止の啓発 ◆環境美化の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもの見守り活動(スクールガード等) ◆環境美化活動(ポイ捨て防止など、啓発等) ◆錦浦っ子フェスティバル等、各種イベントの企画・開催 ◆一人暮らし高齢者宅の訪問等の福祉活動 ◆広報誌を通じた地域情報の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ◆体力測定、グランドゴルフ等、スポーツ・文化活動の実施 ◆地域清掃活動等、安全・安心で美しいまちづくりの推進 ◆地域情報システムの活用、広報誌の発行など、地域情報伝達の充実 ◆ため池めぐり、ハイキングなど豊かな歴史・風土・人物の再発見を促すイベントの実施 ◆地場産の鮮魚・野菜等を生かした伝統料理等の紹介を通じた伝統継承のまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ◆世代間・新旧住民の交流のためのふれあい事業(「地域ふれあい喫茶」「ふれあいシアター」「納涼夏祭り」「文化祭」等) ◆清掃活動の実施(年2回)など住環境の保全 ◆ホームページの立ち上げ、広報誌の発行など地域情報の迅速な伝達及び広報 	<ul style="list-style-type: none"> ◆住民間交流の料理講習会の開催 ◆情報発信のための広報紙発刊 ◆住環境美化のための一斉清掃の実施 ◆多数が参加できる文化祭・講演会の開催
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆交流スペースの拡大 ◆バリアフリー化 ◆喫茶用流し台取り付け 	<ul style="list-style-type: none"> ◆バリアフリー化した多目的室(交流スペース)の確保 ◆備品等を収納できるスペースの確保 ◆お茶程度の接待が可能な調理台の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ◆既存施設の拡張(多人数が集える交流スペースの確保) ◆バリアフリー化 ◆防犯カメラ設備の設置 ◆机、いす等備品の購入 	<ul style="list-style-type: none"> ◆視聴覚室への可動間仕切りの設置 ◆打ち合わせスペースのバリアフリー化 ◆テレビ等備品の購入 	<ul style="list-style-type: none"> ◆調理室(厨房機器、空調機器等)の設置 ◆コミセンに二見小体育館の監視カメラを設置 ◆掲示板、倉庫、自転車置き場の設置 ◆消防設備の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設改修(和室、実習室、交流スペース等の確保) ◆受電設備工事 ◆空調設置 ◆物置設置 ◆テレビ等備品の購入 	<ul style="list-style-type: none"> ◆調理室の改修 ◆空調設備の改修 ◆トイレの洋式化 ◆物置設置 ◆テレビ等備品の購入
配分(整備/活動)	1,000万円/300万円	1,000万円/300万円	1,090万円/210万円	1,070万円/230万円	1,000万円/300万円	1,000万円/300万円	1,000万円/300万円
目指した効果	<ul style="list-style-type: none"> ◆4~50名の会議室整備により交流拠点が出来る ◆防犯活動の輪が地域全体に広がる ◆ホームページでの情報発信により地域活動参加の機会が増加 	<ul style="list-style-type: none"> ◆交流拠点ができることにより、世代間交流の機会も増え、地域の活力を取り戻すきっかけとなる。 ◆各種講座を開催することにより、近くで生涯学習のチャンスが得られ、防災・防犯の講座により、より安全な地域へとなることが期待できる。 ◆地域活動の拠点が定まることにより、住民個々の意見・提案も発言しやすくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆交流拠点整備により、新旧住民、世代間交流が活性化 ◆防犯や環境問題等テーマ型講座の開催による、課題解決に向けた活動の活発化 ◆広場事業の広報発信により、住民が地域について考える意識が高まり、地域自身による課題解決能力が向上 	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設のバリアフリー化により、誰もが立ち寄れる場を提供 ◆広場事業の広報発信により、住民が地域について考える意識・関心が向上 	<ul style="list-style-type: none"> ◆活動拠点の明確化、事業情報の共有化により、新旧住民交流や世代間交流が促進 ◆加入団体の横断的連携により、活動の輪が拡大。地域コミュニティの推進に貢献 ◆地域情報システムの活用、広報誌の充実により、住民間での情報共有・地域理解が深化。また、住民ニーズの把握も可能 	<ul style="list-style-type: none"> ◆新旧住民・異世代間や各種団体の交流が活発になり地域が活性化 ◆ホームページでの情報発信により地域活動参加の機会が増加し、まちづくりへの意欲が向上 ◆地域住民自身が企画、運営することにより地域課題を解決する能力が向上 	<ul style="list-style-type: none"> ◆交流拠点の整備を図ることで誰でも利用できる施設となり、地域住民の連帯感・活性化の向上に寄与。 ◆二見小校区・二見北小校区との連携を密にし、活動を二見町全域へと広げる。 ◆地域住民が企画事業を実施することにより、地域課題を解決する能力の向上を図る。